連載 アッキーの

柏は音楽の街だ！ 4

柏が誇るアーティスト ホタルライトヒルズバンド

〈後編〉

2017年、柏文化会館で開催されたワンマンライブ後にツインボーカルの一人、ゆうかが脱退。会場で涙していたファンも多い中、メンバーはどこか清々しく見えました。思えばあの瞬間がホタバン第二章の始まりだったのかもしれません。

「とにかく純粋に音楽を楽しみたい」と、デビューから5年間、毎年アルバムを出し、ライブツアーで全国を回り、ホタバンの音楽が広く届き始めていましたが、どこかで初心を忘れかけ、もっと高みを目指すことに心を奪われていっていたそうです。

良くも悪くも加速し続けていたことに気がついたのが、この2017年頃。時にがむしゃらに突き進むことも必要、でもそこで周りが見えなくなってしまう人も多い中、ホタバンは一度立ち止まることができました。

「自分がリスナーだったらどんな歌が聴きたいだろうか？」そんなことを常に考えながら、自身が伝えたいことをライフソングとして歌い続け、30代になりやっと理想に追いつき、30代半ばで結婚し子どもが生まれ、より現実味を帯びてきたとボーカルの藤田くんは言います。

バンドとしての歩み方、藤田くん本人の人生の深みが加わり、第二章のホタバンは、着実に聴く人全ての心を揺さぶり、温め続けていると感じます。

かつては全国各地でライブをしていましたが、今は柏で歌い続け、全国からこの街に歌を聴きにきてほしいそうです。「柏は素晴らしい街だから、僕らをきっかけに柏の魅力も知ってもらいたい」と。

青春時代を柏で過ごした藤田くんにとって、当時ダブルデッキから見えた景色、あの日の夕日、風、匂いの全てがこの10年間の曲作りの核になっています。

私たちがホタバンの曲を聴いてどこか懐かしさを感じるのは彼らの曲の核が青春時代の柏にあるからかもしれません。

そんなホタバンが全国に一気に知られるようになったのが、昨年秋にNHKみんなの歌で放送された「金魚のジョン」です。この曲は知っているけど、ホタバンの歌とは知らなかったという方もいるでしょうか。

これを機に、図らずも彼らの楽曲がに多くの人に知れ渡りました。「純粋に音楽を楽しむ、いま聴きたい曲を届ける」そういう思いで真摯に音楽に向かい続けていたからこそ、新たな転機が訪れたのだと思います。

「より多くの人に歌を届けたいという夢がまたひとつ叶いました。それでもまだ練習をして上手くならなくては！」と藤田くんは言います。そして柏の街に歌で恩返しをしたい、柏から生まれたホタバンの曲を沢山の人に届けたい！そのひとつとして音楽の教科書に載ることが夢だそうです。

柏の街が生んだホタバンの曲を、日本中の子どもたちが歌う日もそう遠くはないのかもしれませんね。

ボーカルの藤田リュウジさんと

金魚のジョンも収録！
ホタルライトヒルズバンド活動10周年記念・ANNIVERSARY ALBUM「SING A LONG」発売中！

岡田　亜紀（アッキー）
フリーアナウンサー、柏レイソル応援番組のメインMCを2005年から担当。柏最大の音楽イベント「音街かしわ」プロデューサーや、CCCママ部部長など多方面でマルチに活躍中！ プライベートでは二児の母。

インスタグラム

かんばれ柏レイソル

カミング・ホーム
―加藤匠人（筑波大学蹴球部）

6月17日、柏レイソルは関東大学サッカー連盟1部・筑波大学蹴球部所属のMF加藤匠人（かとうたくと）選手の来季新加入を発表した。加藤選手は1999年生まれの22歳。2018年に柏レイソルアカデミーを卒業しており、大学経由でのトップチーム入りとなる。

ポジションはMF。アカデミー時代は攻撃陣と守備陣のバランスを整えながら、長短織り交ぜた丁寧なパスを配球し、あるいは周囲との連携から相手のボールを奪うスキルに秀でていた。また、日々のトレーニング前に問題集と向き合っていた姿も印象に残っている。

選手としての能力と学業での努力により門を叩いた筑波大。4年間で磨いた現在のプレースタイルを加藤選手はこう語る。

「自分は周りを上手く使って、活かしていくタイプ。長所は右足でのチャンスメイクです。アカデミー時代からパスやシュート、セットプレーのキックの精度は磨いてきたことの一つで、大学でもこだわって取り組んできました。1つのパスやシュートで試合の流れを変えたり、より多くの勝利に貢献していきたいです。そのために嫌らしいポジション取りや予測、カバー能力、戦術理解力を高めて、攻守に走り回って自分らしくプレーしたいです」

来季新加入を勝ち取ったきっかけは、この初夏の練習参加だった。加藤選手にとっては初めての機会。大学サッカーリーグや天皇杯でのプレーがアカデミー出身者の動向をフォローするクラブの目に留まり、声を掛けられたという。

「純粋に嬉しかったです。夢であり目標であるプロになれるかもしれない絶好の機会。『このチャンスを絶対に掴むんだ』という強い気持ちもありました。当時は就職活動も行っていて、将来について真剣に考えている時期でもありましたからね。大学経由での加入が遠回りだと思いませんし、それを証明するために試合に出て活躍したいですし、アカデミー出身者のお手本になれればと思います。2週間で人生が変わりました！」

2019年に中央大学から加入した上島拓巳選手や2020年の東洋大学から加入した松本健太選手に続く、「カミング・ホーム」を叶えた形。期待値は高まる。プレーを楽しみにしているレイソルサポーターへ向け、加藤選手はメッセージをくれた。

「アカデミー出身者として、日立台に戻れることは光栄です。あのピッチで素晴らしい情熱的なサポーターの前でプレーすることは小学生から憧れていました。『ただいま！』と言えて本当に幸せですし、感謝の気持ちでいっぱいです。早く日立台のピッチに立って、多くの勝利を届けられるように毎日を大切に全力で取り組んでいきます。レイソルサポーターの皆様、共に闘いましょう！」

大学サッカー屈指の名門で粛々とプレーを続け、夢を引き寄せた加藤選手。今後は大卒選手として即戦力という重圧も少なからずかかるだろう。彼に続く後輩たちへの希望の光と責任も担うことになる。そんな期待もしたくなる才覚を持った若者が日立台へ帰って来る。（写真・文＝神宮克典）

※写真は2018年当時のものです。

柏レイソル公式ホームページ

☆ ミミコの占い人生相談 ☆

西洋占星術と九星気学をベースにした占いであなたのお悩みにお答えします。

連載

Q　現在一緒に暮らしている彼との子どもが欲しいのですが、自分の仕事のことや彼の仕事が激務なのでどうしたら良いでしょうか。自分の年齢も考えると早めに子どもが欲しいと思っています。

声優・Hさん（36際・女性）1984年9月11日生まれ（出生：茨城県）

A　誠実で控えめなHさん。物静かで理知的。才気にあふれ、愛嬌もあるので老若男女問わず好印象を持たれるタイプです。生活は堅実志向ですが、理想と現実のギャップの大きさに悩まされることもあるかと思います。また少々気が短く行動が衝動的になってしまうような一面も。「今年３７歳になるので出来るだけ早く子どもが欲しい」ということです。女性はどうしても出産の年齢を考えてしまいますよね。まだ籍は入れておらず、彼のお仕事が激務とのことでした。また、ご実家との関係が良好とは言い難い中で「子どもが欲しい」という願いを押し通すのは、現段階では少し無理があるのではないかと思いました。パートナーや周囲の人からの助けなしには子育ては出来ません。Ｈさんは今年2021年からは天中殺に入りますので、何かと空回りしてしまう可能性があります。まずは生活とお仕事を整え、ご実家との関係を良くすることを心がけてください。自分よりも周囲のことを考えて行動することがこの時期の開運につながります。実際にお話しさせて頂き、とても真っすぐな方だなという印象を受けました。陰ながら応援しています。

あなたの相談事（今年の運勢・恋愛・金運・仕事・家族のことなど）なんでもOK！お気軽にお寄せください。

❶氏名❷性別❸ペンネーム❹生年月日（分かれば生まれた時間も）、❺生まれた場所、❻占って欲しい内容を明記の上、

〒277－0843　柏市明原2-3-14-203
「東葛毎日　占い　係」

までハガキでご応募か、メール（mainichi@bunya.ne.jp）または
←応募フォームのメニュー〈題名〉『占い応募』から、必要事項明記の上送信。
お待ちしております♪